

五十音

北原白秋

(水馬赤いな。ア、イ、ウ、エ、オ。)

あめんぼ あかいな あいうえお

(浮藻に小蝦もおよいでる。)

うきもにこえびもおよいでる

(柿の木、栗の木。カ、キ、ク、ケ、コ。)

かきのきくりのきかきくけこ

(啄木鳥こつこつ、枯れけやき。)

きつつきこつこつかれけやき

(大角豆に醋をかけ、サ、シ、ス、セ、ソ。)

ささげにすをかけさしすせそ

(その魚浅瀬で刺しました。)

そのうおあさせでさしました

(立ちましょ、喇叭で、夕、チ、ツ、テ、ト。)

たちましょらっぱでたちつてと

(トテトテタッタと飛び立つた。)

とてとてたつたととびたつた

(蛞蝓のろのろ、ナ、ニ、ヌ、ネ、ノ。)

なめくじのろのろなにぬねの

(納戸にぬめつて、なにねばる。)

なんどにぬめつてなにねばる

(鳩ぽつぽ、ほろほろ、ハ、ヒ、フ、ヘ、ホ。)

はとぽつぽほろほろはひふへほ

(日向のお部屋にや笛を吹く。)

ひなたのおへやにやふえをふく

(蝸牛。螺旋巻、マ、ミ、ム、メ、モ。)

まいまいねじまきまみむめも

(梅の實落ちても見もしまい。)

うめのみおちてもみもしまい

(焼栗、ゆで栗。ヤ、イ、ユ、エ、ヨ。)

やきぐりゆでぐりやいゆえよ

(山田に灯のつく宵の家。)

やまだにひのつくよいのいえ

(雷鳥は寒かる、ラ、リ、ル、レ、ロ。)

らいちょうはさむかるらりるれる

(蓮花が咲いたら、瑠璃の鳥。)

れんげがさいたらるりのとり

(わい、わい、わつしよい。ワ、ヰ、ウ、エ、ヲ。)

わいわいわつしよいわいうえを

(植木屋、井戸換へ、お祭りだ。)

うえきやいどがえおまつりだ